例：別の研究にて本学で保存していた試料（既存試料）を再度利用する場合の掲示文書

金沢大学附属病院 脳神経外科で治療を行われた神経膠腫の患者さんへ 金沢大学医薬保健研究域薬学系との共同研究 「神経膠腫におけるSmurf2のリン酸化修飾と機能解析の研究」について

原発性脳腫瘍は，その臓器特異性から，腫瘍に対する最大戦略である全摘出～十分な余裕を持っての周囲切除が困難なことが珍しくありません．そこで，可及的腫瘍摘出後の後療法としての新規治療法の開発や，病態解明の研究が行われています．

脳腫瘍の中でも神経膠芽腫は中枢神経系における最も予後の悪い腫瘍の一つであり，この腫瘍は高い浸潤能と壊死巣・異常血管新生を特徴としています．これらの特徴は成長因子や種々の細胞外基質成分の過剰産生，メタロプロテアーゼなどの酵素の変調によって引き起こされます．

SMAD specific E3 ubiquitin protein ligase 2(Smurf2)はいくつかの癌において腫瘍抑制因子としての役割を果たすことが示されているタンパクで，腫瘍細胞の増殖抑制に関与していることが示されています．これまでSmurf2のリン酸化修飾と神経膠腫の悪性度・進行度に相関関係があるかどうかは明らかとなっておりませんでした．共同研究先とのタンパク質発現の解析で、Smurf2が脳腫瘍で脱リン酸化されている可能性が示されています．つまりSmurf2のリン酸化修飾が腫瘍細胞の増殖抑制に関与していることが考えられます．そこで我々は、神経膠腫における細胞増殖に関わるSmad2/3,RNF20と言った分子とともに腫瘍組織におけるSmurf2のリン酸化の程度を評価し、神経膠腫の悪性度との相関を解析することを目的とした研究を予定しています。

このために，当院で手術を受けられた神経膠腫患者様の病理検体と臨床情報を用いた実験を計画しております．

この研究は，既に摘出された病理検体とカルテ情報のみを研究させていただくものであり，新たに患者さんへの負担はありませんし，今後の治療方針にも影響しません．また費用の負担もありません．

なお，この研究は，金沢大学医学倫理審査委員会の審査を受け，研究域長の承認を得て行っているものです．

今回の研究に参加したくない方がいらっしゃいましたら，そのことをお申し出ください．その場合，あなたの病理検体や臨床情報は使いませんし，またこれからの治療に差し支えることは全くありません．また，ご自分がこの研究の対象になっているかをお知りになりたい方についても，お調べしお答えいたします．

1．今回の研究について

研究課題名：神経膠腫におけるSmurf2リン酸化修飾と機能解析

この研究では神経膠腫の患者さんの病理検体を，免疫染色やWestern blottingといった手法でSmurf2のリン酸化強度を観察し，臨床情報と合わせて解析することで，神経膠腫におけるSmurf2リン酸化修飾の果たす役割を解明することを目的としています．

例：別の研究にて本学で保存していた試料（既存試料）を再度利用する場合の掲示文書

２．研究の方法について

この研究では，2011年以降に当院で治療された神経膠腫患者様を対象として，病理検体の免疫染色の結果およびカルテ記載・採血結果などの診療情報を使います．収集した情報から，お名前などの個人情報を削除した後に，共同研究施設に情報を送付して解析を行います．集計されたデータは学会や論文などに発表される事がありますが，個人情報が公表されることはありません．

この研究の期間は，ｘｘｘｘ年ｘｘ月ｘｘ日（金沢大学医学倫理委員会の承認日）から2022年2月28日までです．

３．予想される利益と不利益について

この研究は病理検体の免疫染色の結果と臨床情報の調査だけを後方視的に行う研究であり，この研究に参加しても患者さんに直接の利益はありません．予測される不利益として個人情報の流出の可能性が０ではありませんが，データの取扱いについては，外部に漏れることが無いよう細心の注意を払います．

４．プライバシーの保護について

この研究では，具体的には患者さんの病理検体に対応する番号をつけた一覧表を作り，研究には個人情報が含まれない対応番号のみを使います．データの調査のときに個人情報が漏れないように，この一覧表は，データとは別に取り扱います．更に共同研究機関に送付する際には，対応番号も省いたデータのみを送付します．

また，この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがありますが，あなたの個人情報などが公表されることは一切ありません．

５．研究参加に伴う費用の負担や通院について

この研究に参加することによる費用の負担や研究のためだけの新たな通院はありません．

６．研究への不参加の自由について

もし，この研究への参加をお断りになっても，あなたの今後の治療に差し支えることは一切ありません．不参加を希望される場合には，お手数ですが下記の研究責任者，研究分担者，もしくは担当医にお知らせください．研究への不参加を希望される場合は2017年8月31日までに研究の窓口までお知らせください．

７．個人情報の開示について

金沢大学における個人情報の開示の手続については，次のホームページを参照してください．

http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_syomu/kojin-jyouho/

８．研究計画書など資料の入手について

この研究の研究計画書などの資料が欲しい，またはご覧になりたい場合は，研究に関する窓

例：別の研究にて本学で保存していた試料（既存試料）を再度利用する場合の掲示文書

口に問い合わせてくだされば，対応いたします.

９．研究に関する窓口

この研究の内容について，わからない言葉や，疑問，質問，自分がこの対象の対象になるかなど，更に詳細な情報をお知りになりたいときには，遠慮せずにいつでもお尋ねください.

研究機関の名称：金沢大学医薬保健研究域医学系
研究責任者：中田　光俊（金沢大学医薬保健研究域医学系教授／附属病院脳神経外科科長）
問合せ窓口：中田　光俊（金沢大学医薬保健研究域医学系教授／附属病院脳神経外科科長）
電話：Tel: 076-265-2384 Fax: 076-234-4262

共同研究機関：
金沢大学医薬保健研究域薬学系　薬理学研究室　准教授　檜井　栄一